独居高齢者の把握は
関係機関と連携する

南部　登志子　議員（一新会）

❶高齢化社会が急速に進展していく中で、今後特に団魂の世代を中心として定年退職を迎える方が急増する。この中で行政に協力的な方に、市民パートナーのような形で活躍してもらえるような土台づくりを進めよ。

市長公室長　多くの市民にまちづくりのパートナーとしての積極的な協働をしてもらえるよう基盤の充実に努めていく。

❷独居高齢者について、その実態調査に努めるとともに、外部からの安否確認のためガスメーター等を利用しては。また、気軽な外出を促進するために、外食や銭湯券等の配布を検討せよ。

福祉部長　関係機関と連携する中で実態把握に努めていくとともに、緊急時の連絡対策についても、介護サービスの中ですき間をなくす体制づくりを十分に研究していく。

❸留守家庭児童会については、来年度以降も三年生までは全員が入会できるように準備をせよ。また、親の勤務形態により留守家庭児童会に入会できない子どもたちに対して、ファミリーサポート事業等の中で対応できるようにせよ。

教育部長　入会希望者の予測は難しいが、早期に見通しを立てる中で必要な場の確保に努めたい。

福祉部長　ファミリーサポート事業は、ＮＰＯ法人許可申請中の、そよかぜサポートに委託し、本年度中に開設する予定。

❹ＪＲ松井山手駅前保育園の進捗状況は。

福祉部長　６月中の工事着工に向け準備が進められている。９月の開園に向けて委託をした松井ケ丘保育園と協議中で、７月より入所の申込受付を行う予定である。

❺窓口が常に混雑している市民課と国保年金課だが、職員数が不足では。

市長公室長　４月１日より体制強化を図った。今後も事務の状況を踏まえ、職員配置を行いたい。

早朝からラジオ体操をする高齢者（河原神谷）

生ゴミの堆肥化を
さらに検討を重ねる

小林　正路　議員（21市民の会）

❶市内で訪問介護を受けている方は約７００人。寝たきりにならないようにしたい。しかし、訪問介護だけではダメだ。リハビリで回復させたい。リハビリに力を入れよ。

福祉部長　市内にはリハビリの事業所が出来ている。制度を知ってもらうよう努力する。

❷わが市は職員が多すぎる。人件費を減らす方向を示せ。部課長も兼職してもらって減員を。

市長公室長　効率的、効果的な事務執行を行う。

❸再び議員の費用弁償の支給は廃止されよ。議員は報酬をもらって活動している。議会や委員会に出席する毎に日当など受け取るのは厚顔しい。議員は受け取らないと言っている。市は議会と廃止の相談をせよ。

市長公室長　支給する条例があるから出す。廃止する考えはない。

❹再び常磐苑の休日振替を。土・日曜日の開館の要望は強い。応えよ。

福祉部長　市内の他の施設との関連もあるので前向きに検討していく。

❺学童保育の子ども、親たちへの支援はどうした。定員を超えた子どもを邪魔者扱いのように言って何をしているのか。結局どう対処するのか。

教育部長　６月から受け入れ、今後は必要な施設を確保して進める。

❻再び普賢寺地域（打田、高船、天王）各地域へ巡回バス増便を。バス会社との交渉はどうした。ＪＲの駅には10数億の大金を出し、バス会社には知らん顔で交渉できるか。

経済環境部長　バス会社には運行負担金を出している。交渉は続ける。

❼ゴミ問題どうする。大きな焼却場に加入して処理してもらって済むのか。大金を出して済むのか。焼却炉は化学反応のルツボだ。化学反応を起こしてダイオキシンが出てくる。我が甘南備園もダイオキシンが出ている。ゴミは燃やすな。生ゴミ堆肥化。分別処理すべき。

生ゴミ処理機を使用している家庭

始発最終を京田辺駅へ
重ねて強く要望したい

小林　喜代司　議員（一新会）

❶ＪＲ学研都市線は輸送力の増強により京田辺駅の乗客数も大幅に増加しているが、始発と最終は増強されたとは言えない。現在、松井山手駅になっている始発と最終を京田辺駅まで延長を求める声が多いが市の考えは。

市長公室長　ＪＲの輸送力増強については積極的に関係機関に対し要望と実現に向けた取り組みを進めてきた。京田辺駅については、乗車人数も増加してきており京田辺駅での始発時間の繰り上げ及び最終列車時刻の延長など一層の利便性の向上が図られるよう関係機関に対し強く要望したい。

助役　十分理解できることであり、今後重ねて強く要望していきたい。

❷田辺中学校の南校舎は昭和38年の建設である。建築以来41年を経過しており地震等の災害を心配する声が出ている。

校舎の耐震工事もまだ実施されていないので早急に実施していただきたい。市の考えは。

教育部長　昭和56年以前の建築基準法により建築されたものについて平成15年度から3か年で耐震調査また優先度調査を実施している。田辺中学校の南校舎の整備については、今後開発に伴い生徒増も予想されるので、整備計画を策定し、計画的に実施したい。

❸京都府の管理河川の天津神川の上流一帯は大きく開発されたが下流は全く整備されていない。天井川であり災害を心配する地区住民の声も多く出ている。早々に京都府の担当部署と協議の上、対策と堤防上の雑木の除去が必要であるが、市の考えは。

建設部長　上流の開発に伴う雨水排水については、下流へ影響がないように調整池等の設置を指導している。治水対策については、京都府へ改修の要望を行っている。伐採についても京都府へ要望したい。

乗降客数が増加しているＪＲ京田辺駅

自然環境保全の徹底を
開発進め、緑の創出も必要

橘　雄介　議員（21市民の会）

❶土砂採取や産業廃棄物埋立などの乱開発を防止し、自然と住環境の保全の徹底を。市の現在の指導では、悪徳業者のやり得状態だ。硫酸ピッチ事件を教訓に、厳しい権限で規制と罰則を明確に。

緑と景観も含む保全策強化で「緑豊かで健康な文化田園都市」実現を。

建設部長　開発指導要領で適切に指導している。

経済環境部長　条例改正で府と指導強化。私有地の規制は困難。パトロール、監視カメラ等強化。

市長　地権者の責務を前提に計画的開発を。失われる緑の創出も必要。

❷第三次総合計画策定期に明確な市民参画条例の策定の準備を。

まちづくりへの具体的な市民意識や要望、提案を的確に捉えた市民協働参画施策が必要だ。

市長公室長　中間試案で市民意見を募集。市民参画のまちづくりを進め、条例制定は慎重に研究。

市長　条例で事足りない市民参画を進めたい。

❸入札制度の抜本的改革へ、再度姿勢を問う。

過去の入札結果は、談合による高値落札が続いている。入札参加業者が事前に連絡、協議できない様に改め、業界の意識変革も指導し、真の公平、透明、減量化の入札制度に早急に改革を。

建設部長　助役筆頭の建設事業入札契約事務審査委員会を設置し、適正化を研究。議会承認契約案は1億5千万以上。

❹市民の日常生活の安全、安心へ、街灯の増設と歩道の安全整備の具体的計画的推進を。

通学路の総点検と危険回避を学校、地域で対応を。空き巣、窃盗、軽犯罪等の増加に、警察と連携し地域防犯策を。

建設部長　モデル地区でバリアフリー化を進め、道路修理、改良時に整備。

経済環境部長　防犯灯は要望設置。防犯協会や地域防犯推進委員と連携。

教育部長　薪小手原川左岸通学路は理解を得た。

土砂が搬出された急傾斜地（三山木天神山）